

(1) 2011年(平成23年)8月14日

伊勢崎クラブニュース

県央20万都市
伊勢崎市議会
伊勢崎



編集・発行
市議会
伊勢崎クラブ
広報編集チーム

〒372-8501
群馬県
伊勢崎市今泉町二丁目410
TEL.0270-24-5111
FAX.0270-21-1100
<http://www.isesakiclub.com/index.html>

2011年(平成23年)
8月14日

第10号



伊勢崎クラブ会長
原田 和行

残暑お見舞い申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災されました皆様
はもとより、本市におきまして被害を受けられました
皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。

私ども、伊勢崎クラブは平成23年度予算編成に際し、市議会の責任会派としてその責任を自覚し、
市政全般にわたり熱心な協議を行うとともに市民の目線に立って議論を重ね、市民生活に密着した重
点要望事項を五十嵐市長に申し入れたことにより、各分野において事業に反映することができました。

今後は、事業の進捗状況など議会のチェック機能をさらに強化することにより、最小の経費で最大
の効果が得られるような活動を継続してまいります。

今年は、厳しい暑さが続くという予報がありますが、市民の皆様におかれましては一層のご自愛を
心からお祈り申し上げます。



平成23年度伊勢崎クラブ会派名簿

役職	氏名	姓	名
会長	原田和行	原	田和行
会長代行	野田文雄	野	田文雄
副会長	矢島征司	矢	島征司
ク	佐藤幸武英	佐	藤幸武英
ク	須定幸武英	須	定幸武英
ク	大和利	大	和利
幹事長	小暮利	小	暮利
副幹事長	新井利	新	井利
副幹事長・会計	大和利	大	和利
政調会長	小谷原達夫	小	谷原達夫
副政調会長・書記	鈴木良尚	鈴	木良尚
副政調会長・会計	井野俊郎	井	野俊郎
会員	斎藤優	斎	藤優
ク	田島勉	田	島勉

9月定例会日程予定表

9月	1(木)	本会議
	6(火)	本会議
	8(木)	一般質問
	9(金)	一般質問
	14(水)	決算特別委員会
	15(木)	決算特別委員会
	16(金)	本会議
	20(火)	総務委員会
	21(水)	文教福祉委員会
	22(木)	経済市民委員会
	26(月)	建設水道委員会
	30(金)	本会議

**市政報告会を
11月に
予定しています。**



文教福祉部会

文教福祉委員会視察（平成23年7月13日～14日）

- * 広島県広島市・広島市民病院救急医療コントロール機能運営事業
この事業は、「地域医療再生計画」に基づくもので、救急搬送人員が増加をしている中、その受け入れを担う病院群輪番制病院に参加する医療機関が、医師や看護師不足、不採算性等により減少しており、救急搬送の受け入れ先が決まらない事が多い事から、搬送の遅延による重症化を防止するための事業である。
- * 東京都葛飾区・本田小学校におけるフューチャースクール推進事業
この事業は、情報コミュニケーション技術を利活用した協働教育の推進に関する調査研究事業であり、総務省・文部科学省が全国で10校を選び実験的に行っているものである。パソコン時代を象徴した教育の方向性を決めるための研究事業であるように思えた。
どちらも先進事業であり、成功を期待している。



建設水道部会

建設水道委員会視察（平成23年7月14日～15日）
初日は、富山市を訪れ、コンパクトなまちづくりや、まちなか居住の推進について視察した。

- 1、コンパクトなまちづくり
 - 公共交通の活性化
 - 拠点となる広場の整備
- 2、まちなか居住の推進
 - 一戸建て住宅取得補助
 - 共同住宅建設促進と取得補助

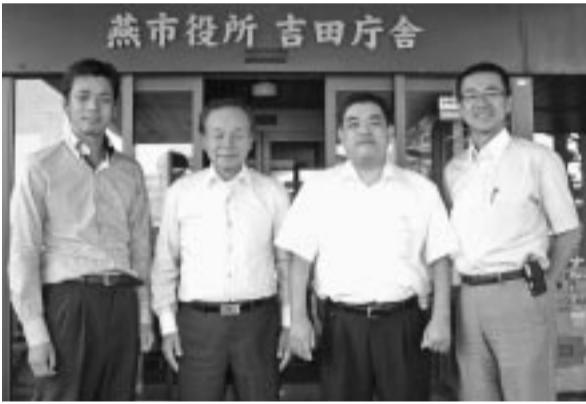
翌日長岡市を訪れ、防災とピックコア地区整備について視察。この事業は、中心市街地11.5haを、中越大震災を教訓に、新たな広域防災拠点として整備したもので。



總務部会

総務委員会視察（平成23年7月6日～7日）

- 合衆市イーハトーブ花巻構想の取り組みについて（花巻市）
互助の精神に基づく地域をつくりあげるために、住民のつながりの深い市内27の区域（小学校区を基盤）を、「コミュニティ地区」として位置付けています。
- 市税コールセンター導入について（盛岡市）
市税等収納率向上対策の一環、コールセンターは民間を活用して設置。



経済市民部会

経済市民委員会視察（平成23年7月25日～26日）
初日の上越市では、①指定ごみ袋の有料広告掲載による収入増加策 ②地産地消の推進について視察してきました。二日目は燕市では、③中小企業振興条例 ④住宅リフォーム助成事業について学んできました。①については、各自治体とも収入増には工夫をしていると感じました。②については、地産地消の取組を広く市民や観光客に周知し、地元産品の生産及び消費の拡大、食品自給率の向上並びに郷土食文化の継承を図る施策になっていることを学びました。③・④については、地域社会と地域経済の担い手である中小企業者が重要な役割であることを再認識し、地元企業の活性化策を学びました。視察で学んだ事項を当市に反映できるよう部会・会派で協議して行きます。

議会改革調査特別委員会

平成22年6月25日に設置した市議会の「議会改革調査特別委員会」は、これまで、9回の委員会を開き、100項目を上回る協議項目を短・中期的項目と長期的項目に分けて協議を重ねてきました。その結果、短・中期的項目はすべての協議を終え、議会運営委員会で決定され、その施行により開かれた議会へ一步を踏み出しました。主な改善事項は次のとおりです。①4常任委員会の公開 ②本会議、常任委員会の日程公開 ③一般質問順位表の事前公開と発言順序に新方式を採用 ④一括採決方式の導入 ⑤4常任委員会会議録のホームページ掲載 ⑥決算特別委員会は当該年度及び現年の正副議長、監査委員を除く全議員が出席 ⑦所管事務調査の一問一答方式 ⑧本会議質疑に時間50分と回数3回を併用など。なお、次回以降は長期的項目として、議会基本条例、議員政治倫理条例等を協議する予定です。

暑い中、いかがお過ごしでしょうか？今年は暑さに加え、『節電の夏』です。グリーンカード・扇風機・風鈴・クーラビズなど皆さんの工夫が、実を結んでいることだと思います。暑さ対策として、只今実施中の群馬DC（大型観光キャンペーン）を活用して避暑に行くのも一つの方法ではないでしょうか？今年の夏もたのしい思い出ができるといですね。

編集後記

原発事故に伴う放射能汚染に、漁業農業商工業と広きに渡る環境破壊、不安な毎日が過ぎています。私達が住んでいる市でも他人事とは思えません。子育てするなら群馬県とさえ云われておりますが、中でも住みやすい地として全国で上位に上げられている伊勢崎市。住みやすい地として本市が上げられていますが、七月には早々暑さの一位になつたのをニューースで知りました。館林市や前橋市と群馬県の知名度が上がつた様に思われます。安心安全な生活を取り戻せる様に、尽力をつくして頂く事を願っています。

市民の声